

証の書の権威

預言者 E.G. ホワイトの靈感と権威

歴代下 20:20 ヨシャパテは立って言った、「ユダの人々およびエルサレムの民よ、わたしに聞きなさい。あなたがたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすればあなたがたは成功するでしょう」。

我々の教会は E.G. ホワイトを預言者と認めている。

神の残りの民についてのもう一つの大きな際立った特徴

黙示録 12 章 17 節→黙示録 19:10 イエスの証を持っているものはだれ？=預言の霊、兄弟たちと同じ僕仲間であると言っている。ヨハネの兄弟とはだれの事か？黙示録 22：8,9 あなたの兄弟=預言者である。

我々の歴史において、預言の霊=証の書はユニークな古い道しるべの一つであった。聖所、再臨、三天使の使命、人間の性質、安息日、千年期。

・証の書に対するサタンの攻撃

しかし、疑い、不信が入ってきた。E.G. ホワイトの預言者としての権威に対する不信。ある人は、聖書の権威証の書の両方を権威とすることをどうしても受け入れられないので、牧会的よき書という地位に置き、牧師よりは上、しかし、使徒たちや聖書の預言者たちよりは下と言う。1980 年代までは、証の書も教会内では権威として認めてきたが、それ以来風向きが変わってきたようである。ある人は、幻でなく、幻想、精神分裂に陥ったと悪らつな言い方をする人がいる。近年、ある SDA 教会の牧師が講壇で証の書を会衆の前で塵箱に捨てたことがあった。

「サタンの最後の欺瞞は、御霊の証を無効にすることである。....サタンは巧妙にいろいろな方法で、間違った器を通して残りの民が真の証を信頼しないようにはたらくであろう。」レター12,1890

「最後の時代の危機のさなかに光を最も必要としている神の民からこの光をさえぎることがサタンの特別な目的である。」5T 667

「証の書に対するサタンの憎しみの火が燃え上がるであろう。...神の御霊の警告と譴責と勧告が留意されるならば、サタンは欺瞞を持ち込むすべを知らず、欺きの中に魂を閉じこめることはできないことを知っている。」1 SM84

「神の民の、証の書に対する信仰を弱めることが、サタンの計画である。次に我々の信仰の重要点、我々の立場を明らかにする柱(複数=聖所、再臨、三天使の使命、人間の性質、安息日、千年期)に関する懷疑が続く。それから聖書に関する疑いが続く。そして、破滅に落ちていく。」4T211

※ ここに信仰の破船の順序が書いてある。

ウイルソン総理の訴え:

「私たちの歴史のこの時期に、ひそかに強力な方法で私たちの信仰の土台を壊そうと人々を導いているのは、どんな影響力でしょうか。私たちの信仰の土台は、この働き之初めに、祈りのうちにみ言葉の研究と啓示によって導かれたものです。この土台の上に、私たちは過去 50 年間(1844 年から)築いてきました。私たちの信仰の柱のあるものを除こうとする働きが始まるのを見て、私が何か言うべきことがあっても驚くことはないでしょう。・・・私たちは神の戒めを守る民です。過去 50 年間、あらゆる種類の異端が、私たちの所にもたらされ、み言葉の教えについて心をくもらせました。特に天の聖所におけるキリストの奉仕と、ヨハネ黙示録 14 章の天使によって与えられた終末時代に対する天の使命に関して、私たちの心をくもらせてきました。一つ一つ、祈りつつ研究されることによって探し出され、奇跡を行われる主の力によって証明された真理の代わりに、あらゆる種類のメッセージがセブンスデー・アドベンチストに対して熱心に説かれてきました。しかし、私たちを今日の私たちにした道しるべは、保たれるべきであり、神がみ言葉と聖霊の証を通し

て示されたように、保たれるに違いありません。神は私たちに、信仰を固くし、議論の余地のない権威を土台とした根本的な原則に堅く立つよう、求めておられるのです。」

初期において、教理を堅固なものにするために、徹夜して断食しても聖句の意味が分からず、道が閉ざされたとき E.G. ホワイトに幻が与えられ、はっきり示されたことがしばしばあった。「み言葉の研究と啓示によって導かれた」と言っている。

預言者、E.G. ホワイトは聖書の預言者と同じ権威があるか？

E.G. ホワイト「しかし神はこの地上に、聖書、そしてただ聖書だけをすべての教理の基準、すべての改革の基礎として保持する一つの民をお持ちになるであろう。」大争闘下 360

「聖書、聖書のみが唯一の権威」だから、証の書を権威として使うべきではないという人たちがいる。聖書の預言者たちと、E.G. ホワイトの靈感には相違があるだろうか？ 預言者としての権威に相違があるだろうか？

考えてみよう：

1. E.G. ホワイトは預言者である。
2. 聖書の著者と同じ靈感を受けた。靈感の差はない！

例：ホワイト刊行協会のクーン先生は、「少し妊娠しているとか、多く妊娠しているという表現はしない。妊娠しているか、していないかのどちらかである。同じように、少し靈感を受けているとか、多く靈感を受けているという表現はしない」と言っている。靈感を受けている預言者であるか、そうでないかのどちらかである。

ある人は、ホワイト夫人は自ら「預言者であると主張していない」という引用文を持ってくる。そう、彼女はそうは主張していないが、否定はしていない。

「わたしの仕事は、この名が意味するよりも以上のものを含んでいる。わたしは、神の民のための使命を、主にゆだねられた使命者である。....わたしが受けた任命は、預言者の働きを含むがそれだけではない。」1SM35,36

3. いったん E.G. ホワイトを預言者と認めたなら、彼女の教えは完全に聖書の預言者のそれと一致するはずである。なぜなら、「預言者の霊は、預言者に従う」1 コリント 14:32

では、預言者 E.G. ホワイトの権威と聖書の預言者たちとの権威の相違があるか？

確かに E.G. ホワイトは、聖書を書いた著者に加えられない。彼女自身が我々が持っている聖書だけが唯一の権威であり、基準であると言っている。しかし、聖書を書かなかった預言者たちもいることが聖書に書かれている。書き物を残した者もいるし(1 歴代 29:29 「預言者ナタンのおよび先見者ガドの書」)、書かなかった預言者もいる。

旧約では、エリヤ、エリシャ、ミカヤ、アザリヤ、ホルダ、ガド、シマイヤ、イド、アヒヤ、ナタン等々...。ナタンやガドは聖書を書いたが聖書 66 巻の著者には入っていない。だから権威がない？

新約にもこんな記録がある：「伝道者ピリポの...四人の娘があったが、いずれも処女であって、預言をしていた。」21:8、9

聖書を書いた預言者と書かなかった預言の間に靈感、権威の差があるか？ エリヤ、エリシャは偉大な権威ある預言者であった。しかし、エリヤの書、エリシャの書と呼ばれるものはない。

ダビデは預言者であった。ダビデが姦淫の罪、殺人の罪を犯した時に、神は預言者ナタンを遣わされた。ダビデの罪を率直に指摘したとき、ダビデはナタンの預言者としての権威を認めた。ダビデは、王であり、預言者であったから、ナタンを軽蔑しただろうか？ 「私の書いた聖書、詩篇は世々にわたって人々に読まれるであろう。しかし、君は書き物を書いていないし、21 世紀の人々には何一つ引用されないであろう」と言っただろうか？ 否、否である。ダビデはナタンを神が遣わされた預言者と認めて神に罪を悔い改め告白した。主は、預言者ナタンの

口を通して豊かな赦しを宣言した。2 サムエル 12 章を読もう。また、ダビデはイスラエルの数を調べるということで罪を犯した時、ガデの権威を認め、その罪を悔いた。1 歴代 21 章に読むことができる。

ホワイ夫人は、ナタンやガデのような預言者の部類に入るであろう。

聖書の解説者：

ウイルソン総理の訴え：

「神は、セブンスデー・アドベンチスト教会に預言の霊を与えられました。ただ過去のためだけでなく、さらに将来のためにもっと重要な最大の賜物の一つとして受け入れなさい。聖書が真理の至高の権威と最終的判定者として私たちの判断の中で最高支配者である一方、預言の霊は、聖書真理の私たちの適用を助けるために明白で、霊に満ちた勧告を提供します。それは、その教会の宣教をいかに遂行するかを、教会に教えるために天から送られた案内人です。それは、聖書の信頼できる神学的解説者です」

ホワイ夫人は、聖句の全部を解説してはいない。しかし、証の書が聖書の説明をするときにそこには誤りがないのである。彼女自身に示されていない、最終時代に解明される預言が多々あり、「我々に研究せよ」と強く勧めているのである。

ある指導者は、ホワイ夫人は、我々の唯一の基準、権威は、聖書である、聖書を読めと言っているからと言って、証の書の靈感の権威を認めず、信者にただ聖書を読めと偏った勧めをしている。

「ただ、律法とあかしに求めよ」とイザヤは言っている(イザヤ 8:20)。十戒以外は、みな預言者たちの「あかし」である(1 ペテロ 1:10)。

E.G.ホワイ夫人は同じ靈感、同じ権威があるなら、聖書に加えるべきであろうか？ホワイ夫人は、我々の救いに関することは、すべて 66 巻の聖書にあり、それで十分であると言われている。E.G.ホワイ夫人は「聖書と神が与えられた証を研究せよ、なぜならそれらは決して神の言葉と矛盾しないから」と言っている。3SM32

目が弱い人にはメガネが必要。「見えると言いつ張るところにあなたがたの罪がある」と主は言われる。我々は、ラオデキヤ、目が見えないと主は言われるのに、どうして見える見えると言いつ張るのであるか。証の書は聖書をよりよく理解するために与えられているのである。

特にさまざまな聖書翻訳が氾濫する今日、どれが正しいかわからない時、証の書が与えられていることを感謝しよう。例を少し挙げよう：

ダニエル書の「常供の燔祭」について、初代文集 155 頁に「燔祭」という言葉は翻訳者が付け加えたものであると言っている。

大正 13 年の聖書にはあったが、それ以後の聖書にはない、「国と栄は限りなく汝のものなればなり」という主の祈りの結末の言葉は、靈感の言葉なのだろうか？

マタイ 18:11 の言葉はほんとの聖書にはないとされている。

ヨハネ 7:53-8:11 の姦淫の女の事件は、「最も信頼される写本？」にはないとされている。証の書は何と言っているか？

ヨハネ 5:3-4 もない？ 欽定訳、証の書を見よ。

証の書の源：権威の源：

ホワイ夫人、ご自身の事を「ホワイ夫人はこれらの書物の創作者でない。」(文書伝道 125)と言っている。

「これは神の働きであるか、それともそうでないかである。神は、サタンと共同で何もされない。わたしの働きは神の印を帯びているか、それとも敵の印を帯びているかである。この事において中途半端はない。証は、神の霊からのものであるか、それとも悪魔からのものである。」(4T230)。

「...彼らは自分たちの考えに合わないことがあると、それを理由にして、証は人間からのものであるか、それとも神からのものかと言いつ出すのである。」MS 16、1889。

「どのような場合にも、わたしは自分自身の判断または意見を言わなかった。」バトルクリーク教会への証、1882、58。

「私自身の考えを表現した記事は、一つもない」(5T67)

しかし、聖書的根拠を持たない他教派の人に対して証の書を聖書と同じ権威として使うことは、賢明ではない。

イエスの証=預言の霊=預言者(黙示録 12:17、19:10、22:9)に従うことが安全である。

歴代下 20:20 ヨシャパテは立って言った、「ユダの人々およびエルサレムの民よ、わたしに聞きなさい。あなたがたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすればあなたがたは成功するでしょう」。

預言者を軽視し、拒むことは、主を拒むこと？預言者を信じ、従うなら、堅固、成功！

「勧告、譴責、警告の中に光と知識が与えられている書物を読まないために、多くのものは光に反している」(5T681)

「主がエレン・G・ホワイトを通して語られ、メッセージを与えられたことを信じるすべての者は、最後の時代にやってくる多くの欺瞞から安全に守られるであろう。」(3SM84)

「我々が現代の真理にしっかり立って、望みをもって第二の幕の中に魂の錨をおろすならば、さまざまな偽りの教えや、誤りの風は、我々を動かすことはできない。」(1 RH 11)

「時も試練も与えられた教訓の効力を失わせなかった。....この教会の初期に与えられた教訓は、その終末時代においても信頼できる教訓であると思わなければならない。」(1SM41)

「あなたが証に対する信頼を失うならば、あなたは聖書の真理から押し流されてしまうであろう。」(7T 98)

ウイルソン総理のメッセージで、

「セブンスデー・アドベンチスト教会の兄弟姉妹たち、主は預言の霊の著書の中に、おそらく最も偉大な賜物の一つを私たちに与えておられます。聖書が時代遅れや不適切でないのと全く同様に、神の終末のメッセンジャーのあかしもそうです。神は聖書、預言、健康、教育、対人関係、宣教、家庭、そのほか多くの主題について、靈感を受けた洞察を提供するために、エレン・G・ホワイトを謙虚なしもべとして用いられました。預言の霊を読みましょう。預言の霊に従いましょう。そして預言の霊を紹介しましょう」

讚美歌 326 : 光に歩めよ